

私たちはG I 指定を目指した理由は、大きく2つあります。

1つ目は、信頼性を上げるためです。厳格な生産基準と、審査会を経ることで、消費者の方々に安心して南会津のお酒を飲んでいただけるようになると思います。

2つ目は、国内外に南会津のお酒の特徴と品質の良さをアピールする狙いがあります。

超がつくほどの軟水と、その水で育つお米、冬場の醸造環境（豪雪）、杜氏と蔵人の情熱によって、醸造される清酒は、鑑評会等で高く評価されています。本町の清酒の魅力をさらにPRすることで、消費拡大を目指していきたいと考えています。

また、今回の指定にご協力いただきました皆さまに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。そして、これを機にさらに酒造りに精進してまいります。



地理的表示南会津管理協議会
細井 信浩 会長

地理的表示（G I）制度は、地域で長年育まれた特性があり、品質などが生産地と結び付いている名称を、知的財産として保護する制度です。酒類は国税庁長官によって指定され、産地名を独占的に名乗ることができます。

今回の指定は、南会津町の4つの酒蔵（国権酒造、開当男山酒造、会津酒造、花泉酒造）で構成される地理的表示南会津管理協議会が、南会津の地酒の知名度を高めようと、令和3年から準備を進め、指定へと至りました。

G Iとは？

8月30日、南会津町産の清酒（日本酒）が、酒類や農林水産物などの地域ブランドを保護する国の制度「地理的表示（G I）」の指定を受けました。

登録名は「南会津（清酒）」で、酒類の指定は全国17例目、県内では初めての指定となります。

また、小規模自治体、町単独での指定は、「全国初」となります。

GI 認定酒が決定しました！



9月12日、地理的表示南会津管理協議会は、町商工会にて認定酒の審査会を開催しました。厳格な生産基準をクリアし、町外の有識者などによる審査に合格した4蔵の7種類が認定を受けました。今後は、G I南会津マークが貼られ、販売されることとなります。

- 〈ラインナップ〉写真左から
- 南山 純米吟醸（開当男山酒造）
 - 開当男山 特別純米酒 夢の香（開当男山酒造）
 - 山麩純米吟醸 国権 福乃香（国権酒造）
 - 特別純米 国権 夢の香（国権酒造）
 - 口万 純米大吟醸酒 原酒一回火入れ（花泉酒造）
 - 純米酒 会津（会津酒造）
 - 山の井60（会津酒造）



G I南会津マークの前で記念撮影に応じる（左から）渡部景大会津酒造社長、細井信浩国権酒造社長、渡部町長、渡部謙一開当男山酒造蔵元、馬場秀樹花泉酒造常務取締役。

地理的表示「南会津」

- GIの名称：南会津
 - 産地の範囲：福島県南会津郡南会津町
 - 酒類区分：清酒
- 酒類の特性
- 南会津の純米酒は、口当たりがやわらかく、米由来の優しい甘みと後味がすっきりとしている点に特徴があります。色は透明から淡い金色です。特に、純米大吟醸酒や純米吟醸酒は、口に含むと、口の中に上品な甘みがやわらかく広がり、リンゴやメロンといった果実を思わせる爽やかな香りも感じられます。また、甘みと香りが調和することにより、すっきりとした余韻が楽しめるのも特徴の1つです。
- 原料
- ① 米及び米こうじに、産地の範囲内で収穫した米のみを用いていること。
 - ② 水に産地の範囲内で採水した水のみを用いていること。
 - ③ 原料にアルコールおよび糖類を使用していないこと。（純米酒以上）
- 製法 南会津町で醸造、貯蔵及び容器詰めが行われていること。



【GIマークのデザインについて】

中央のGIの文字は新酒が出来た時に飾る杉玉を、上部のデザインは七行器行列で花嫁がつける角隠しをイメージし、赤い酒杯で支えるデザインとなっています。



GI指定報告会

